



春を満喫 桜・菜の花&富士の巻狩りウォーク 2014.04.13 10km

主催:富士宮歩こう会
共催:富士の巻狩りまつり実行委員会
公益社団法人 富士宮市観光協会



コース紹介
「構成資産・源頼朝の巻狩り伝説」を歩こう！
狩宿さくらまつりに合わせて、構成資産(白糸ノ滝)と曾我兄弟の仇討ゆかりの地、音止めの滝・朝日滝などを歩きます。ほとんど緩やかで歩きやすいコースです。
白糸の滝をスタート、平成棚田を見ながら朝日滝まで歩きます。曾我八幡宮・曾我兄弟霊地で昔を偲びつつ、祭会場、狩宿の下馬桜で桜や菜の花を見ながら昼食です。午後は田園地帯を通り、大石寺(寺内)の桜を散策しながらゴールの駐車場に向かいます。ここでも富士山が美しく見えます。

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。



緊急時連絡
三田村和夫 090-9124-8844
宇佐美武幸 090-7025-9607

次回行事
天浜線・姫街道ウォーク(第5ステージ)
☆期日 4月27日(日)
☆集合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3700円
☆×切 4月22日(火)
申し込みは白糸の滝でのフリー時間と昼食時に受け付けいたします。

巻狩りにかかわる伝承地

- (陣馬の滝) 頼朝がこの滝の近くに一夜の陣を張った。
- (おびん水) 白糸の滝の上にある岩窟から水がわいている。頼朝がこの水でびんのほつれを直した。
- (音止めの滝) 曾我兄弟が討ち入りの相談をしているとき、滝の音に声がかき消され相談が進まなかったため、兄弟が「心無しの滝よ、我ら兄弟の辛苦をしらざるか。」と嘆くと、滝の音がびたりとやみ、無事討ち入りの相談が済むと再び滝の音がとどろいた。この伝説から音止めの滝というようになった。
- (隠れ岩) 曾我兄弟が岩陰に潜み討ち入りの相談をした所。
- (曾我八幡宮) 主祭神は応神天皇で、相殿として曾我兄弟が祀られている。祭壇には、応神天皇の騎馬像を挟んで曾我兄弟と虎御前の木像が安置されている。社伝は、頼朝が兄弟の孝心に感じ兄弟の英霊を祀るよう畠山重忠を遣わし、渡辺主水に命じて祀らせたといわれている。また、応神天皇の木像は文覚が刻んだもので、兄弟の像は丹波法眼によって作られたとも伝えられている。
- (頼朝の硯石・山宮) 富士の巻狩りのおり、この地を通った源頼朝が、この石で墨をすったと伝えられている。
- (馬見塚) 集めた馬を頼朝が見分した所。
- (鞍掛石・大石寺) 巻狩りを終え休養のために安居山別所の富士野の館へ向かった頼朝が、ここで休み馬の鞍を掛けた石。
- (矢立石・矢立町) 頼朝が矢を立てた所から水が湧きだしたといわれる。現在は水が枯れ記念碑のみが残されている。
- (二つ石・阿寺地) 頼朝が馬に乗るとき踏み台とした石。
- (首掛け沢・上井出) 巻狩りの時、獲物の首を掛けて大きさを競った。

巻狩りと曾我兄弟
源頼朝は、今から811年前の建久4年(1193)5月に、白糸の狩宿に宿所を置き、多くの御家人を集めて現在の朝霧高原一帯で巻狩りを催した。その巻狩りの最中に、曾我十郎祐成と曾我五郎時致の兄弟が父の敵工藤祐経を討った「曾我兄弟の仇討ち」といわれる事件が起きた。源頼朝が巻狩りの時に宿所とした所が、現在の狩宿井出家及びその周辺だったと考えられている。宿所の置かれた狩宿井出家の周辺は、西は芝川の深い谷となり、東は大沢崩れから流れてきた大石がごろごろする川原だったと考えられ、宿所を構えるために適した要害の地であったといえる。狩宿井出家の入り口に、狩宿の下馬ザクラといわれるアカメノヤマザクラの老木がある。巻狩りのおりに、ここで頼朝が馬から下りた「下馬ザクラ」だとか、このザクラに頼朝が馬をつないだ「駒止のザクラ」だとかいわれている。また、頼朝が宿所の前に差した杖が根付いたものとも伝承されている。
巻狩りは、現朝霧高原一帯で、御家人たちの武勇伝や失敗談など多くの話題を繰り広げながら進行していった。そうしたおりに建久4年5月28日の夜、降りしきる雨の中工藤祐経の宿所に押し入った曾我十郎祐成と曾我五郎時致の兄弟によって、工藤祐経と王藤内が殺戮されるという大事件が起きた。いわゆる「曾我兄弟の仇討ち」といわれる事件である。仇討ちを果たした後、兄弟は騒ぎを聞きつけて集まってきた御家人に取囲まれ、十郎祐成は新田四郎忠常に討たれ、五郎時致は女装した五郎丸によって捕らえられ翌日処刑されたといわれている。この地域の伝承として、音止めの滝東側の工藤祐経の陣所が置かれたといわれる所には、祐経の墓がある。また、曾我八幡宮東の辺りに新田四郎忠常の陣所が置かれ、この近くで兄十郎祐成が討たれたといわれ、小高い丘の上に曾我兄弟の墓がある。

コース			
往路(バス)	富士宮駅南口 == 白糸の滝(駐車場)	* 白糸の滝フリー散策	
	9:00	9:30	9:40~10:15
ウォーク	白糸の滝旧レストラン広場...平成棚田...朝日滝...曾我八幡宮...曾我兄弟霊地		
	10:20		10:55~11:00 11:40 11:50
	...狩宿さくらまつり会場...大石寺五重塔...三門東駐車場		
	12:20~13:20	13:55~14:00	14:25~30
復路(バス)	大石寺三門東駐車場 == 富士宮駅南口		
	14:30	15:00	